

自由記述欄より

自由記述欄にたくさんのご意見をいただきました。全部を掲載するのは難しいため全体に関わる主なご意見・ご感想・ご要望だけに限らせていただきました。各学級に関わるご意見等は担任へ渡しています。どうぞよろしくお願いします。

★は学校からの回答です。

【授業・学習面】

○書き初め展を見て、子供たちの力作に驚きました。美しい字が並び、先生方のご指導の賜と感心しました。

○授業の中に、地域の方や高齢者から古くても残していくとよいことを子供たちに教えてもらったり、話をしてもらうことも取り入れてほしいと思う。

★4年生の社会科の授業で伝統文化を学習する際に、伝統工芸の職人をしている地元の方を招いて、実物を見ながらお話を伺いました。この他にも機会ある毎に地域の方々から色々なことを学びたいと思っています。

○図書教育の充実を強く希望します。図書館司書の来る日数が減ったため、不安を感じました。

★本校は練馬区の中でも早期に読書活動推進モデル校となりました。そして図書ボランティアを募り図書教育を充実させてきました。ところが、来年度から区内全校で読書活動を推進するため、学校図書館司書は本校へは来なくなります。来年度は学校図書館担当の教員と図書ボランティアのお母さん方の連携で図書教育の充実に励みます。

○学級によって、宿題の量、授業の進み方、給食の食べ方も違うので、学年や担任が変わるたびに子供はとまどってしまいます。学校全体で統一できないもののでしょうか。

★学校として全ての教育活動を統一することはしませんが、学校・学年として最低のラインは揃えていきます。

【生活面】

○たてわり班活動では、他の学年の子供たちと交流でき、とても良い活動だと思います。

○20分休みに校庭にでないで勉強の続きをしている児童がいるが、休み時間は子供が楽しみにしているし、体を鍛えるためにも外遊びを大いにやらせる方がよいのではないか。

○何か問題が発生した場合、一人の児童の問題とせず、学級全体または学年全体の問題として解決していくことで、一人一人の子供の成長に繋がっていくと思う。

★学級全体や学年全体に関わる問題である場合は、学級・学年で解決しています。個に関わる内容と判断した場合は個別で対応しています。

○担任の先生は、子供や保護者の思いをよく聞いてくれて、問題に対応していただき感謝している。

○仲町小の子供は、少し幼いと思う。子供の行動に対し家で注意をすると、「みんなやっているから」自分だけでない。当たり前感覚がある。

★規範意識を持たせることは、学校生活を充実するために必要なことであり、その意識が無いと集団が育ちません。「悪いことでもみんながやるから自分もやる」はあってはならないことです。学校では徹底的に指導していきます。

【学校管理運営上の建設的な意見】

○伝統を守り、教育方針が安定している校風は素晴らしいと思う。

○登校・下校時に校門等で、先生が子供たちに声を掛けてくれることが、安全面の観点から必要ではないか。あいさつの習慣にも繋がります。

★学校では、先生が順番に「看護当番」をしています。児童の登校時には校門に立ち、あいさつや声掛けをするように努めています。

○登校時間後の東西の門の施錠をお願いします。日中は正門を使用することを徹底してほしい。

★今までも、児童が登校後は東西の門は施錠していますし、日中の出入りは正門のみとなっています。

○通学路のパトロールや地域活動などで、PTA活動が素晴らしいです。今後も継続すべきと考えます。

○不審者情報があった際、メール連絡などあり、親も注意できたので良かった。安全に対してよく考えている様子が感じられ、安心できた。

○学校の建物、施設などの耐震性は問題ないのでしょうか。以前、練馬区の学校は問題有りの記事を見ましたが、その辺が少し心配です。

★本校は、記事に書かれた点については指摘を受けていません。また、体育館と校舎の耐震工事は既に終わっています。

2 学校関係者評価

【自己評価結果に対する学校関係者の意見】

- 教員が、子供たちの思いや願いに耳を傾け受け止めてくれる点については、保護者、児童、教員が共に高い評価であり、児童理解のために今後も更に続けてほしい。
- 子供たちのよさを引き出し、認め伸ばすように、教員は努力していることが分かる。今後も児童一人一人を大切にす教育をより一層進めてほしい。
- 教員は子供の間違っ行動に対して厳しく指導していることについても、それぞれが高い評価をしている点は、先生の規範意識を育てる努力が感じられる。
- 仲町小学校は、それぞれの学年で、人や地域・自然との関わりを豊かにするような特色ある教育活動を行っていることが伝わってくる。しかし他学年のことは、見えてこないし、知る機会も少ないので、学校での活動がもっと広く伝わる努力が必要だと思う。
- 「児童は、楽しく学校生活を過ごしている」の保護者と教員の評価は高いので安心とも言えるが、児童の楽しくないと答える18%は気になる。
- 児童のきまり守る態度、あいさつをする習慣は、保護者の「A」「B」が8割、9割の評価に対し、教員はかなり低い評価となっている。個人と集団での違いがあるのか。
- 児童の授業中の話を聞く態度、考える力等が身につけているかは、保護者の良い評価に対し、児童は3割近くは良いとしていないし、教員は更に低い評価になっている。公開日でない普通の授業に対する児童の取組や教員の授業の進め方、教え方も今後検討が必要なかもしれない。

3 次年度の学校改善へ向けた対応

☆道徳心や規範意識を高める指導を更に取り組む。

道徳や縦割り活動、特色ある教育活動を通して、人との豊かなかかわりと集団の中での約束事が守ることができる活動の場を意図的に設定していく。そして、更に豊かな人間関係と規範意識を向上させていく。

☆あいさつや言葉遣いをよくするための取り組みを更に進める。

生活指導委員会を中心に、児童のあいさつや言葉遣い等を検討・工夫し、教職員の共通理解のもと、全校統一して授業中は勿論、休み時間や遊びに中でも適切にできるように指導を強化していく。

☆授業中の決まりを徹底し、児童の考えを引き出す指導法を工夫する

生活指導委員会を中心に、授業中の決まりを全教員で共通理解し徹底していく。授業の指導過程に自力解決や小集団活動等を設定することにより、考える時間と表現する場を確保し、児童の考える力や判断する力を育てていく。

☆特色ある学校づくりを更に推進し、保護者への理解を一層深める。

各学年の特色ある教育活動を更に推進させていくとともに保護者や地域に学校だよりやホームページ、更に学校公開等でその活動を積極的に伝えていく。

